

## ■外部資金受け入れ状況

### 2023年度 科学研究費採択状況

代表者 分担者	種目	研究者			研究期間	新規 継続	研究課題
		学科	役職	氏名			
研究代表者	基盤研究C	生活科学科	准教授	笠浩一郎	2017～2023	継続	同時通訳の訳出方略の分析のための柔軟な対訳対応付け手法の開発
研究代表者	若手研究	食物栄養学科	准教授	相川悠貴	2020～2023	継続	走運動と食餌量制限によるエネルギー不足状態における筋質の評価
研究代表者	基盤研究C	食物栄養学科	准教授	相川悠貴	2023～2025	新規	一時的なエネルギー充足と体重変動は痩身女性アスリートの低骨密度を改善できるか
研究分担者	基盤研究C	食物栄養学科	准教授	相川悠貴	2023～2025	新規	機械刺激による筋肥大のエピジェネティック・メモリーと加齢によるその抑制
研究代表者	基盤研究C	食物栄養学科	教授	阿部稚里	2022～2024	継続	和食パターンと主要な疾病の死亡・発症・有病率－30年間の国際比較研究－

(3月31日現在)

### 2022年度 科学研究費採択状況

代表者 分担者	種目	研究者			研究期間	新規 継続	研究課題
		学科	役職	氏名			
研究代表者	基盤研究C	生活科学科	准教授	笠浩一郎	2017～2022	継続	同時通訳の訳出方略の分析のための柔軟な対訳対応付け手法の開発
研究代表者	若手研究	食物栄養学科	准教授	相川悠貴	2020～2022	継続	走運動と食餌量制限によるエネルギー不足状態における筋質の評価
研究代表者	基盤研究C	食物栄養学科	教授	阿部稚里	2022～2024	新規	和食パターンと主要な疾病の死亡・発症・有病率－30年間の国際比較研究－

(3月31日現在)

### 2021年度 科学研究費採択状況

代表者 分担者	種目	研究者			研究期間	新規 継続	研究課題
		学科	役職	氏名			
研究代表者	基盤研究C	生活科学科	准教授	笠浩一郎	2017～2021	継続	同時通訳の訳出方略の分析のための柔軟な対訳対応付け手法の開発
研究代表者	基盤研究C	食物栄養学科	教授	橋本博行	2018～2021	継続	給食施設での粉体食物アレルギーの飛散特性の解析と混入防止対策
研究代表者	若手研究	食物栄養学科	准教授	相川悠貴	2020～2022	継続	走運動と食餌量制限によるエネルギー不足状態における筋質の評価

(3月31日現在)

### 2020年度 科学研究費採択状況

代表者 分担者	種目	研究者			研究期間	新規 継続	研究課題
		学科	役職	氏名			
研究代表者	基盤研究C	生活科学科	准教授	笠浩一郎	2017～2020	継続	同時通訳の訳出方略の分析のための柔軟な対訳対応付け手法の開発
研究代表者	基盤研究C	生活科学科	教授	橋本博行	2018～2020	継続	給食施設での粉体食物アレルギーの飛散特性の解析と混入防止対策
研究代表者	若手研究	生活科学科	講師	相川悠貴	2020～2022	新規	走運動と食餌量制限によるエネルギー不足状態における筋質の評価

(3月31日現在)

### 2019年度 科学研究費採択状況

代表者 分担者	種目	研究者			研究期間	新規 継続	研究課題
		学科	役職	氏名			
研究分担者	基盤研究B	生活科学科	准教授	笠浩一郎	2015～2019	継続	通訳方略の体系化と文構造の逐次解析に基づく講演音声の同時通訳
研究代表者	基盤研究C	生活科学科	准教授	笠浩一郎	2017～2020	継続	同時通訳の訳出方略の分析のための柔軟な対訳対応付け手法の開発
研究代表者	若手研究	生活科学科	講師	相川悠貴	2018～2019	継続	食餌量不足条件でのジャンプ運動は骨強度を増加させるか？
研究代表者	基盤研究C	生活科学科	教授	橋本博行	2018～2020	継続	給食施設での粉体食物アレルギーの飛散特性の解析と混入防止対策

(3月31日現在)

## 2018年度 科学研究費採択状況

代表者 分担者	種目	研究者			研究期間	新規 継続	研究課題
		学科	役職	氏名			
研究代表者	若手研究B	生活科学科	准教授	阿部稚里	2014～2018	継続	食事バランスガイドと簡易型自記式食事歴質問票を用いた食教育の注意点の把握
研究代表者	若手研究	生活科学科	助教	相川悠貴	2018～2019	新規	食餌量不足条件でのジャンプ運動は骨強度を増加させるか？
研究分担者	基盤研究B	生活科学科	准教授	笠浩一朗	2015～2019	継続	通訳方略の体系化と文構造の逐次解析に基づく講演音声の同時通訳
研究代表者	若手研究B	生活科学科	准教授	笠浩一朗	2015～2018	継続	多角的な観点に基づく同時通訳者の通訳プロセスの定量的な分析
研究代表者	基盤研究C	生活科学科	准教授	笠浩一朗	2017～2020	継続	同時通訳の訳出方略の分析のための柔軟な対訳対応付け手法の開発

(3月31日現在)